



医師不足地域を支える医師



**伊豆今井浜病院
副病院長
梅田 容弘 先生**

河津桜で有名な河津町にある100床の病院に勤務しております。1986年自治医大卒業の内科医です。

静岡県立総合病院、焼津市立総合病院での初期研修後、国保佐久間病院勤務、静岡県立総合病院総合診療科・静岡県代診医としての勤務を経て、1997年から伊豆半島の医療に携わっています。主に地域の病院の内科医として勤務してきましたが、研修後に日本内科学会総合内科専門医、消化器内視鏡専門医の認定を受けました。ふだんは一般内科医として外来棟勤務のほか、消化器内視鏡検査治療を行っており、訪問診療や産業医としての役割もあります。現在の病院の標榜科は、常勤医のいる内科/外科/整形外科/婦人科のほか、循環器内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科です。

地域医療枠として訪れる研修医の先生方には幅広い現場を体験してもらっています。地域の病院は職員数が少ないこともあり院内での意思疎通がしやすく、他職種との意見交換が行いやすいことが特徴だと思います。一人では対応できない場面でも院内の協力だけでなく地域の開業医の先生との連携、後方支援をしていただける高次病院の専門の先生と連携をとりながら対応できることが地域で働く者の励みとなっています。地域医療は、患者さんとその家族との距離が近いことに魅力があり、自分の持つ技術を活かせる大変やりがいのある場です。